

本資料のうち、枠囲みの内容は、
営業秘密又は防護上の観点から
公開できません

東海第二発電所 工事計画審査資料	
資料番号	工認-496 改3
提出年月日	平成30年9月21日

日本原子力発電株式会社
東海第二発電所 工事計画審査資料
放射性廃棄物の廃棄施設
気体、液体又は固体廃棄物貯蔵設備
(固体廃棄物貯蔵系)

(本文)

放射性廃棄物の廃棄施設

1 気体、液体又は固体廃棄物貯蔵設備

1.3 固体廃棄物貯蔵系

(1) 容器

- a. 使用済樹脂貯蔵タンク
- b. クラッドスラリタンク
- c. 使用済粉末樹脂貯蔵タンク

(2) 容器の名称, 種類, 容量, 最高使用圧力, 最高使用温度, 主要寸法, 材料及び個数並びに漏えい防止のための制御方法

			変更前	変更後
名 称			使用済樹脂貯蔵タンク	
種 類	—	たて置円筒形		
容 量	m ³ /個	□ (252* ¹)		
最 高 使 用 圧 力	MPa	静水頭		
最 高 使 用 温 度	℃	65		
主 要 寸 法	胴 内 径	mm	6400* ¹	
	胴 板 厚 さ	mm	□ (18.0* ¹)	
	鏡 板 厚 さ	mm	□ (18.0* ¹)	
	鏡板の形状に係る寸法	mm	6400.0* ¹ , * ² (鏡板中央部内半径)	
			640.0* ¹ , * ² (鏡板隅の丸み半径)	
	平 板 (屋 根) 厚 さ	mm	12* ¹ , * ³	
	樹 脂 入 口 管 台 外 径	mm	60.5* ¹ , * ³	
	樹 脂 入 口 管 台 厚 さ	mm	3.9* ¹ , * ³	
	デカント水出口管台外径	mm	60.5* ¹ , * ³	
	デカント水出口管台厚さ	mm	□ (3.9* ¹ , * ²)	
高 さ* ⁴	mm	8760* ¹ , * ⁵		
材 料	胴 板	—	SUS316	
	鏡 板	—	SUS316	
個 数	—	2		
漏 え い 防 止 の た め の 制 御 方 法* ⁶		—	受入側でないタンクの液位高による 流入弁自動閉回路	

変更なし

NT2 補② II R2

注記 *1: 公称値を示す。

*2: 既工事計画書に記載がないため, 記載の適正化を行う。記載内容は, 昭和58年2月4日付け57資庁第19601号にて認可された工事計画の添付書類「V-2-1-2 固体廃棄物貯蔵タンクの強度計算書」のうち, 「V-2-1-2-(1) 使用済樹脂貯蔵タンク」による。

*3: 既工事計画書に記載がないため, 記載の適正化を行う。記載内容は, 設計図書による。

- *4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高」と記載。
- *5：記載の適正化を行う。既工事計画書には，スカート部から平板上端部までの高さである「9200」と記載。記載内容は，設計図書による。
- *6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「制御方法」と記載。

			変更前	変更後
名 称			クラッドスラリタンク	変更なし
種 類	—		たて置円筒形	
容 量	m ³ /個		<input type="text"/> (252 ^{*1})	
最 高 使 用 圧 力	MPa		静水頭	
最 高 使 用 温 度	℃		65	
主 要 寸 法	胴 内 径	mm	6500 ^{*1}	
	胴 板 厚 さ	mm	<input type="text"/> (14.0 ^{*1})	
	鏡 板 厚 さ	mm	<input type="text"/> (14.0 ^{*1})	
	鏡板の形状に係る寸法	mm	6500.0 ^{*1, *2} (鏡板中央部内半径)	
			650.0 ^{*1, *2} (鏡板隅の丸み半径)	
	平 板 厚 さ	mm	9 ^{*1, *3}	
	逆 洗 水 入 口 管 台 外 径	mm	165.2 ^{*1, *3}	
	逆 洗 水 入 口 管 台 厚 さ	mm	7.1 ^{*1, *3}	
	上 澄 水 出 口 管 台 外 径	mm	60.5 ^{*1, *3}	
	上 澄 水 出 口 管 台 厚 さ	mm	<input type="text"/> (3.9 ^{*1, *2})	
	濃 縮 器 ブロー 入 口 管 台 外 径	mm	60.5 ^{*1, *3}	
	濃 縮 器 ブロー 入 口 管 台 厚 さ	mm	3.9 ^{*1, *3}	
高 さ ^{*4}	mm	8335 ^{*1, *5}		
材 料	胴 板	—	SUS316L	
	鏡 板	—	SUS316L	
個 数	—		2	
漏 え い 防 止 の た め の 制 御 方 法 ^{*6}	—		液位高による流入弁自動閉回路	

注記 *1：公称値を示す。

*2：既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、昭和58年12月13日付け58資庁第15229号にて認可された工事計画の添付書類「V-2-1-1 固体廃棄物貯蔵タンクの強度計算書」のうち、「V-2-1-1-(1) クラッドスラリタンク」による。

- *3：既工事計画書に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。
- *4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高」と記載。
- *5：記載の適正化を行う。既工事計画書には，スカートから平板上端部までの高さである「8810」と記載。記載内容は，設計図書による。
- *6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「制御方法」と記載。

			変更前	変更後
名		称		使用済粉末樹脂貯蔵タンク*1
種	類	—		たて置円筒形
容	量	m ³ /個		<input type="text" value=""/> ^(144*2)
最高使用圧力		MPa		静水頭
最高使用温度		℃		65
主要寸法	胴内径	mm		5000*2
	胴板厚さ	mm		<input type="text" value=""/> ^(8*2)
	鏡板厚さ	mm		<input type="text" value=""/> ^(12*2)
	鏡板の形状に係る寸法	mm		5000*2 (鏡板中央部内半径)
	平板(屋根)厚さ	mm		500*2 (鏡板隅の丸み半径)
	出口及びドレン管台外径	mm	—	4*2
	出口及びドレン管台厚さ	mm		48.6*2
	入口管台外径	mm		<input type="text" value=""/> ^(3.7*2)
	入口管台厚さ	mm		114.3*2
	高さ	mm		6.0*2
材料	胴板	—		8586*2
	鏡板	—		SUS304
個	数	—		SUS304
漏えい防止のための制御方法		—		2
				—

注記 *1: 本設備は既存の設備である。

*2: 公称値を示す。

表1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト (1/31)

		変 更 前				変 更 後						
設備区分	系統名	機器区分	名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
気体、廃棄物貯蔵設備 液体又は固体	固体廃棄物貯蔵系	容器	使用済樹脂貯蔵タンク	B-1	クラス3	-		変更なし		-	-	
			クラッドスラリタンク	B-1	クラス3	-		変更なし		-	-	
			-	-	-	-		使用済粉末樹脂貯蔵タンク	B-1	クラス3	-	-

表1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト (31/31)

			変 更 前				変 更 後					
設備区分	系統名	機器区分	名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
堰その他の設備	-	原子炉格納容器本体外に設置される流体状の放射性廃棄物を内包する容器からの流体状の放射性廃棄物の施設外への漏えいを防止するために施設する堰	キャスク搬出入用出入口	B	-	-	-	変更なし	-	-	-	-
			サイトバンカトラックエリア出入口	B	-	-	-	変更なし	-	-	-	-
			廃棄物処理建屋機器搬出入用出入口	B	-	-	-	変更なし	-	-	-	-
			雑固体ドラム搬出入用出入口	B	-	-	-	変更なし	-	-	-	-
			ドラム搬入室出入口	B	-	-	-	変更なし	-	-	-	-
			廃棄物処理建屋出入口	B	-	-	-	変更なし	-	-	-	-
			焼却設備機器搬出入用出入口	B	-	-	-	変更なし	-	-	-	-
			連絡配管路出入口 (中廊下(二階))	B	-	-	-	撤去	-	-	-	-
			サイトバンカ非常用出入口	B	-	-	-	撤去	-	-	-	-
			連絡配管路出入口 (廃棄物処理棟ハッチ室(二階))	B	-	-	-	撤去	-	-	-	-

注記 *1: 表1に用いる略語の定義は「原子炉本体」の「5 原子炉本体の基本設計方針、適用基準及び適用規格」の「表1 原子炉本体の主要設備リスト 付表1」による。

*2: 撤去対象設備であるため記載を削除する。